

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すみだステップハウスおおぞらにじの子			
○保護者評価実施期間	R6年 9月9日		～	R6年 11月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	75人	(回答者数)	28人
○従業者評価実施期間	R6年 12月2日		～	R6年 12月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数)	12人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月28日			

○分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小学1年生から3年生までの学齢児を対象として年数回ではあるが、個別療育の提供をしている。	・保護者の方の困りごとを一緒に整理して施設としてできる事や情報の提供をしている。 ・希望に合わせて保護者のみの相談も受けている。	・新人も含めて学齢児向けの研修に参加し、個々のお子さんの状況に合わせた支援をさらに充実させる。
2	・各専門職の心理士・ST・OT・看護師が在職しているため、お子さんの状況に合わせた療育の提供ができる。 ・児童精神科・小児神経・小児整形・摂食相談など各専門の医師の診察が毎月定期的に提供ができ、保護者の方のニーズに合わせて相談や発達状況を確認して医学的な助言を受けることができる。	・医師診察を行うことで、お子さんの発達状況の確認を共有することが出来、学校側に必要な支援を保護者が伝えていく為の情報提供を心がけている。	・医療機関の必要性などの状況を把握して、必要な場合には情報提供をしている。
3	・教育相談・すみだ保健子育て総合センター・他事業所など地域の関係機関との連携ができる。	・相談内容により、必要に応じて他機関の情報提供をしている。	・必要に応じて、教育相談・すみだ保健子育て総合センター・他事業所などの情報提供や共有を行う。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・予約枠に偏りが生じてしまう。	・学校があり、共働き家庭で平日の利用が少ないことや時間帯も16時以降に集中しやすい為、調整が難しい。	・予約前に協力を求め説明する。 ・必要に応じて、他機関の情報提供を行う。
2	・個別療育なので、担当職員と保護者との関係性は密だが、職員同士での情報共有をしにくい。 ・保護者面談時、お子さんの状況に合わせて分離が好ましい場合、対応する人員やスペースが限られている為難しい場合もある。	・個別での対応の為、情報共有する機会が少ない。 ・職員、スペースが限られている。	・必要に応じて多職種の評価を入れていく。 ・廊下で待てる工夫、対面で伝えにくい場合は電話対応をするなど柔軟に応じる。
3	・学齢児の保護者交流会や保護者向けの勉強会などの情報が少ない。	・乳幼児の保護者向けの企画がメインとなっている。	・学齢に関わる情報収集を行い、必要に応じて提供していく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 すみだステップハウスおおぞらにじの子

公表日 令和7年3月10日

利用児童数 75

回収数 28

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	4	0	1	綺麗になったのはうれしいですが、とにかくアクセスが前より悪くなってしまったのが残念です。狭く感じます。	アクセスの面ではご不便をおかけしております。限られたスペースで安心・安全に活動ができるように努め工夫をして対応して取り組んでいきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	3	0	4		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	3	0	1	分かりやすい環境になっているが、先生側のエリアに子どもが入ってしまう為うまく住み分けられていない	療育中は課題に集中できるよう支援します。より構造化できるよう工夫していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	1	0	2	それぞれの部屋に圧迫感を感じます。整理整頓してほしい。	限られた部屋のスペースでの対応の為、さらに整理整頓に努めます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	1	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	2	0	3		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	2	1	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	4	0	3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	1	0	3		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	2	1	7	利用回数が少なく不明	利用回数が少ない中でも、お子様に合わせてプログラムの工夫をしていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	4	13		
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	2	0	2		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	2	0	2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	3	0	6	利用回数が少なく不明	今後も保護者の方が参加できる交流会や情報提供を掲示したり、ウェルキッズなどで配信していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	2	1	2	利用回数が少なく不明	限られた回数の中で、お子さんの発達状況を確認して保護者に伝えたり、個別支援計画などでも共有できる様に継続して取り組んでいきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	5	2	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	0	1	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	3	2	14	利用回数が少なく不明	保護者交流会などで保護者同士が交流する機会や家族支援などの情報提供に努めます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	2	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	0	1	0		

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	3	0	5		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	0	2		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	4	1	5		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	2	1	12		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	2	1	6		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2	1	6		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	24	0	0	0		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	5	0	0		
	29 事業所の支援に満足していますか。	20	3	0	1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すみだステップハウスおおぞらにじの子				公表日	令和7年3月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1		16時は児童発達支援利用者の予約で埋まることも多い人気枠のため、年齢が利用可能な時間帯と重なり、予約の調整が難しいことが多い	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	4	学校側に、施設としてできること、難しいことを伝えていく。	発達検査のみを希望されるご家族が多い。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	0	各職員が限られた空間を工夫している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	2		分離して対応する人員、スペースがない。いつでもクールダウンできる場所があると良い	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	アンケートに回答することによるメリットや必要性を伝えていく	年に数回のみ利用する保護者に現在のアンケート方式は難しい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	3			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	3		学齢期向きの研修が少ない	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	4		準備中で、実施はまだできていない	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	1		関わる職員が決まっているので行っていない。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1		個々の職員に任されている状況である	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	1		3ヶ月に一回の支援なのでそこまでの対応ができていない	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	5		個別療育のみであり、回数が年4回となっているため。学齢児は個別療育のみで、個別療育の担当者が作成している利用となっている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	1		3ヶ月に一回なので行う内容が限られてくる	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	5		・個別療育のみとなっている。・個別しか行っていない。 ・個別のみのため。・学齢児は個別療育のみの設定となっている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	5	要配慮児や保護者は、朝会等でお知らせし対応できるようにしている。	個別療育のみのため、個人対応になる。 個別しか行っていない。 個別支援のみ。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	4	要配慮児や保護者は、朝会等でお知らせし対応できるようにしている。	個別しか行っていない。 個別支援のみ。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	1		年間4回の実施のためモニタリングの作成が難しい
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	12	0		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	1		
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1		放デイ利用者の会議は行われていない
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	6		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	3		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	5		就学3年生までの利用のため、対応していない。 保護者と登園。 小学3年生で終了となるから。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	6		同じ法人がセンターを運営しており連携している
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	4		
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	5		
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0		
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	3	保護者交流会、勉強会などはある。	学齢児向けの研修がない
	保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	
37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		12	0		
38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		12	0		
39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		12	0		
40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	8	行う場合には予算をつけて外部指導を呼ぶ	
41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		12	0		
42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		11	1	定期的に必要情報を配信している	
43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。		12	0		
44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		12	0		
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		12	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	4	食事の提供は、していない。 食事の提供は行なっていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	1		